第4章　教育・文化・スポーツ　第3節　青少年育成

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト（千円）		活動実績（H28）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
青少年課	実施計画ランク 重要 「家庭の日」推進事業 期間 昭和48年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 特になし 事業の目的及び具体的な内容 青少年を健全に育成するための最も重要な基盤である家庭を改めて認識する「日」を設定し、家庭における青少年健全育成への啓発を図る。 市内小学校3年生から中学校3年生を対象に、家庭を基盤として青少年が未来に向けて考えていること（夢・希望・提案）をテーマとした作文を募集し、優秀作品を選考して、優秀者の表彰を行う。	一般	H27予算現額 330 H28予算現額 222 H27正規職員人件費 0.39 人 3,377 H28正規職員人件費 0.32 人 2,744	H27決算額 319 H28決算額（見込み） 270 H27その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.15 人 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.20 人	項目名 ①小学生作文応募数 ②中学生作文応募数 ③ 実績 ①171件 ②697件 ③	指標名 対象児童生徒数に対する作文応募数の割合 H27年度目標 4% H27実績 4% H28年度目標 4% H28実績 5% H29年度目標 5%	目標設定の考え方・根拠 家庭の日を認識してもらうことを目的に作文を募集しているので、その応募数を指標とする。 H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	児童生徒の実数は年々減少している中で、総児童数に対する作文応募率だけでなく、応募実数も増加している。 成果をあげていると考えている。 評価者 青少年課長　森田　茂明	H28年度に改善した点 作文募集について周知するために、校長会等の場で改めて依頼している。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 引き続き、小中学校等の協力を得ながら、事業を進めてまいりたい。	無	無
青少年課	実施計画ランク 重要 青少年育成所沢市民会議交付金 期間 昭和48年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 青少年育成所沢市民会議交付金交付要綱・所沢市補助金等交付規則 事業の目的及び具体的な内容 青少年健全育成団体の連絡調整を図り、総合的事業の企画を遂行する青少年育成所沢市民会議に対し、その財源として補助を行う。 広報活動、かるた大会、街頭キャンペーン、各種スポーツ大会等の実施のほか、地域青少年育成団体の活動費の交付や青少年健全育成事業への助成を行っている。	一般	H27予算現額 5,850 H28予算現額 5,850 H27正規職員人件費 0.22 人 1,905 H28正規職員人件費 0.27 人 2,315	H27決算額 5,850 H28決算額（見込み） 5,850 H27その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.05 人 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.05 人	項目名 ①スポーツ大会・家庭の日・非行防止等の青少年健全育成に係る事業の年間実施数 ② ③ 実績 ①26件 ② ③	指標名 青少年体力つくりスポーツ大会参加者数 H27年度目標 4,000人 H27実績 3,615人 H28年度目標 4,000人 H28実績 3,447人 H29年度目標 4,000人	目標設定の考え方・根拠 青少年の非行防止・健全育成を目的に各種事業を行うので、代表的な事業であるスポーツ大会への参加者等数を指標とする。 H28目標値が未達成の理由・分析 実施種目を一部減らしたため、その分の参加者が減少している。	B	本団体は、本市の青少年健全育成にかかる中心的役割を担っている団体であり、歴史も古く、市全域への影響が大きい。 歴史を重ねる各スポーツ大会の実施やふるさと意識の醸成に資する「所沢郷土かるた」を用いた事業など参加者も多く優良な事業を実施するほか、青少年の非行防止・健全育成を目的に街頭啓発活動を中心になって実施するなど、本市の青少年健全育成に大変貢献している。 今後も交付金の補助額は維持しながら、市は同団体と連携して青少年健全育成に取り組みたい。 評価者 青少年課長　森田　茂明	H28年度に改善した点 部会（総務部会、スポーツ部会、環境部会）を開催し、各委員の情報共有を図るとともに部会の在り方について検討した。 「所沢郷土かるた大会」を「こどもと福祉の未来館」で実施し集客数の拡大を図った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 組織の活性化や効果的な青少年の健全育成を図るために部会や規約の見直しを行っていく。	無	無
青少年課	実施計画ランク 重要 青少年健全育成広報・啓発活動事業 期間 平成年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 特になし 事業の目的及び具体的な内容 青少年が新たな社会の担い手として、非行に陥ることなく、豊かな個性と能力を持った人間に成長する社会環境を地域社会が主導して創っていくよう、市民全体に呼びかける。 青少年の非行・被害防止及び青少年健全育成に係る街頭啓発活動を市と青少年育成市民会議の主催により、関係団体の協力を得ながら実施する。	一般	H27予算現額 300 H28予算現額 577 H27正規職員人件費 0.24 人 2,078 H28正規職員人件費 0.32 人 2,744	H27決算額 275 H28決算額（見込み） 405 H27その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.10 人 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 0.20 人	項目名 ①街頭啓発活動に協力した延べ団体数 ②街頭啓発活動に参加した延べ人数 ③街頭啓発活動に参加したジュニア推進員の延べ人数 実績 ①56団体 ②288人 ③4人	指標名 啓発物配布数 H27年度目標 3000個 H27実績 3000個 H28年度目標 3100個 H28実績 3000個 H29年度目標 3000個	目標設定の考え方・根拠 青少年の非行・被害防止、また健全育成を目的に街頭で啓発活動を行うので、啓発物の配布数を指標とする。 H28目標値が未達成の理由・分析 啓発物の配布予定数を前年実績と同数としたため、目標値には達しなかった。	A	青少年健全育成の実現には、継続的に啓発活動を行うことが効果的であり、全国的に展開する強調月間に合わせて本市の青少年健全育成に関わる各団体の協力を得て活動を行うことは、大変有意義で効果があると考えている。 評価者 青少年課長　森田　茂明	H28年度に改善した点 活動を主催する本市と青少年育成市民会議とで、啓発グッズの共通化を引き続きはかり、コスト削減に努めている。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 今後も、効果的な活動を行うために、実施の方法等の改善に努めたい。	無	無
青少年課	実施計画ランク 重要 ふれあいタウン事業 期間 平成15年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 特になし 事業の目的及び具体的な内容 非行行為を青少年の問題としてだけではなく、地域社会全体の問題として捉え、青少年が非行に巻き込まれるような状況の抑止対処、また所沢駅周辺の環境浄化を目的とする。 所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を行う事業を日本ガーディアンエンジェルスに委託して実施している。	一般	H27予算現額 1,439 H28予算現額 1,439 H27正規職員人件費 0.13 人 1,126 H28正規職員人件費 0.18 人 1,544	H27決算額 1,061 H28決算額（見込み） 1,439 H27その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 臨時職員	項目名 ①ガーディアン・エンジェルス延べ活動人数 ② ③ 実績 ①68人 ② ③	指標名 商店街の巡回回数 H27年度目標 52回 H27実績 52回 H28年度目標 52回 H28実績 52回 H29年度目標 52回	目標設定の考え方・根拠 所沢駅周辺の環境浄化を目的としているので、その巡回回数を指標としている。 H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	経験豊富なガーディアンエンジェルスメンバーが所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を実施することは、街の風紀維持に大変効果があると考えている。 また、青少年育成推進員の研修の一環として、推進員がパトロールに同行して活動のノウハウについてレクチャーを受けるなど、青少年団体への好影響も大きいと考えている。 評価者 青少年課長　森田　茂明	H28年度に改善した点 青少年育成所沢市民会議の広報誌「わかたけ」に活動記事を掲載し周知を図った。 前年に引き続き、青少年健全育成推進員の研修の一環として、夏休み前にガーディアンエンジェルスの活動に同行して、パトロールを体感した。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み スタッフの人材確保に苦労しているので、市ホームページや広報誌などを活用して支援したい。	無	無

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト（千円）		活動実績（H28）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
青少年課	実施計画ランク 青少年育成推進員協議会事業 期間 昭和62年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 特になし 事業の目的及び具体的な内容 埼玉県から委嘱された青少年健全育成推進員とともに、本市における青少年健全育成を目的とする団体や事業等との連携・調整を図る。 青少年育成市民会議の実施する街頭啓発活動や家庭の日推進事業等に協力参加したり、各推進員は地域学校等と連携して安全で安心な学校と地域づくりに尽力している。	一般	H27予算現額 513 H27決算額 413 H28予算現額 428 H28決算額（見込み） 383 H27正規職員人件費 0.53 人 H27その他職員従事割合 非常勤 特別職 4,590 臨時職員 H28正規職員人件費 0.16 人 H28その他職員従事割合 非常勤 特別職 1,372 臨時職員 0.05 人	項目名 ①青少年育成推進員数 ②活動実施・協力・参加回数 ③ジュニア推進員数 実績 ①64人 ②25回 ③10人	指標名 ジュニア推進員の登録数 H27年度目標 8人 H27実績 5人 H28年度目標 8人 H28実績 10人 H29年度目標 10人	目標設定の考え方・根拠 活動の幅を広げるために、中学生の推進員を募集し・活用しているので、その登録数を指標とする。 H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	青少年健全育成に係る趣旨を理解し、青少年の非行・被害防止及び健全育成の街頭啓発活動をはじめ、各種事業に協力いただいている団体であり、今後も同様に協力を求めたい。 評価者 青少年課長 森田 茂明	H28年度に改善した点 ジュニア推進員の募集について、各中学校・児童館へのポスター掲示に加えて、校長会の場でも働きかけた。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 推進員は学校区ごとに選出されているので、学校との情報共有が重要となる。 事業等を通じて、連携を深めていくことが課題と考えている。	無	無
青少年課	実施計画ランク 重要 青少年相談員協議会補助金 期間 昭和40年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 埼玉県青少年相談員設置要綱・所沢市青少年相談員協議会補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 地域社会において、友愛精神をもって青少年に接し、その相談相手となり、助言活動を行い、健全な青少年育成に資するために、補助金を交付している。 当該団体は、レクリエーションやキャンプなどの活動を通じて、学校や学年を超えた仲間づくり、リーダーを含めた異年齢同士の交流を目的に事業を実施している。	一般	H27予算現額 72 H27決算額 72 H28予算現額 72 H28決算額（見込み） 72 H27正規職員人件費 0.12 人 H27その他職員従事割合 非常勤 特別職 1,039 臨時職員 0.00 人 H28正規職員人件費 0.19 人 H28その他職員従事割合 非常勤 特別職 1,629 臨時職員 0.05 人	項目名 ①活動実施回数 ②自主事業参加のべ人数 ③ 実績 ①15回 ②84人 ③	指標名 相談員の登録人数 H27年度目標 10人 H27実績 7人 H28年度目標 10人 H28実績 11人 H29年度目標 10人	目標設定の考え方・根拠 青少年相談員の数の増加が活動の活性化につながり、ひいては青少年の健全育成に資することから、相談員の数を指標としている。 H28目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	限られた人員の中で、自主事業等を着実に実施して、青少年の健全育成に貢献していると考える。 評価者 青少年課長 森田 茂明	H28年度に改善した点 特になし。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 高校生のスタッフを含め、事業に関わる人員の確保が課題と考えている。 市や関係機関の広報誌などの活用により周知を図っていく。	無	無